

# 建築科



**建築科 団長 佐伯 暢**

私は建築科の団長を務めさせていただきました。体育大会の練習では思い通りにいかないこともあって不安でしたが、最終的には素晴らしい体育大会にすることができたので良かったです。今年もコロナの影響で制限がかかってしまうことがたくさんあり、悔いの残る部分もありましたが、みんなで工夫し楽しむことができました。頼れない団長でしたがついてきてくれた建築科のみんなには感謝しています。最後に3年生はそれぞれの道に進んでいきます。この学校で学んだことを活かし頑張っていきたいと思っております。3年間楽しかったです。ありがとうございました。

# 体育大会

## 10 / 13 (木)

### 優勝!!

# 土木科



**土木科 団長 石川 侑輝**

土木のやんちゃ連中を束ね切るのをお前しかおらんとかおだてられて引き受けたものの、なかなか難題で…自分自身途中「大丈夫やろか?」と思ったことも正直ありました。けれど、リーダーのみんながいたから諦めずにやり切れました。いや、最後の場面ではリーダー以外の人や下級生も手伝ってくれて、しっかりパフォーマンスを完成させることが出来ました。

なかなかエンジンがかからずにもどかしい思いもしたけれど、最後は形に出来たと思っています。やるときはやる!これが脈々と受け継がれた土木科の伝統です。派手な成果は出なかったけれど、自分たちなりにやり切れたという気持ちがあります。自分で自分を褒めることもできました。そして、みんなと一緒にその喜びをかみしめることもできたことはとても大きなことでした。

この学校を出てからは、みんなそれぞれの道を歩いていきます。そして、いろんな面倒なことに出会うでしょう。そんなときに、ふとあの体育大会の盛り上がりや想い出してくれたら、俺としては何も言うことはありません。

# 電気科



**電気科 団長 小笹 幹来**

電気科の応援団長に選んでもらいい経験ができ、2つのことを学びました。まず1つ目は、人をまとめる大切さと難しさです。皆をまとめることができないと練習が進まなかったりするのですが、応援練習の時などはいかに周りと協力して団全体をまとめるかなどを意識していました。そして2つ目は、頑張ったら頑張った分だけ自分に返ってくるということです。団長として体育大会の練習から気合を入れて、自分ができる限りのことをやろうと決め、精一杯体育大会に挑みました。その結果、最高の応援合戦ができてとても嬉しかったです。改めて、団長になって良かったと思えました。

今年もコロナの影響で唐工祭が無くなるのではないかと心配していましたが、先生方や保護者の方々のご協力のおかげで無事に唐工祭が開催され、本当に感謝しています。そして、頼りない自分のような団長についてきてくれた団員にも感謝が尽きません。今の1・2年生は今年の体育大会よりも盛り上がり、優勝を目指して頑張ってください。最高の思い出を本当にありがとうございました。

# 機械科



**機械科 団長 澤田 文哉**

今回の体育大会で色んな事を学び自分自身大きく成長することができました。例えば代表として皆を引っ張っていく責任感やうまくいかなかった時の切り替え、そこからの対応などこれから先、必ず必要となってくる力を身につけることができました。そして先生方や団員との会話をしている中でコミュニケーション力の向上、人の前に立つ自信といった社会的な力も得ることができ、団長になってよかったと思えました。

今年の体育大会は去年と比べ規模を少し大きく開催されました。その背景には先生方や保護者の協力、生徒たちの声があったのだと思っています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。そして来年はもっと盛大に1・2年生で唐工を盛り上げ支えていってください。とてもいい思い出を作ることができました。皆さんありがとうございました。

